

●機能概要

ITKarteサービスで登録できる医用データ・・・ITKarteサービスで出来ること

- 診断結果や指導内容など
- CT、MRI、電子内視鏡画像など
- 採血・検尿・心電図など検査データ
- 地域連携パス（Excelデータ）
- 検診結果・報告書など
- D t o Dの情報交換ができます。
- 専門医への遠隔相談ができます。
- 地域内外の病診・病病連携が可能です。
- 他の医師が登録した診察記録やサマリ情報も確認しながら診療にはいれます。
- テーマ毎に医師会員を指定して、カンファレンスがITKarte上で行えます。
- 医療、介護間での情報共有ができます。
- 健康予防から介護までの一環した情報共有も可能です。
- 研究資料・学会発表などに、匿名の医用データを利用できます。

ITKarteサービス 機能概要

- 医師コメント入力機能・・・医師の診察記録や検査所見、紹介・相談依頼などの、テキスト入力ができます。
- 医用データ機能・・・患者IDに対してDICOM、JPEG等の画像、PDF、BMP、ECGファイルを登録できます。クリティカルパスなどのExcelデータ等（予定）を登録できます。デジタルカメラなどの静止画や、15MBまでの動画データも登録できます。
- 遠隔医療相談機能・・・離島、へき地診療所などから、専門医などへ画像、検査内容を送り医療相談ができます。
- 一時利用患者登録機能・・・連携の為に連携用患者IDをウェブ上で即座に作製できます。（3ヶ月間 無料）
- 薬剤情報検索機能・・・（株）じほうの最新データで薬剤情報検索やジェネリック薬検索ができます。
- カンファレンス機能・・・カンファレンスルームを利用すれば、複数の医療従事者間でWebカンファレンス可能。
- 患者プロフィール登録・・・患者病歴を把握しやすい患者プロフィール画面があります。（編集履歴10回ロールバック可能）
- 画像プレーヤー・・・登録された画像を複数開けます。印刷も可能です。

画像連携ツール 機能概要

- DICOMアップロード機能・・・DICOM-CDからITKarte上にDICOMデータをアップロードできます。
- DICOMデータ変換機能・・・DICOM形式のデータをJPEG変換して、ITKarteにアップロード、またはパソコンに保存することができます。
- サムネイル表示機能・・・登録された画像からのアップロードの際に任意の代表画像をサムネイルとして表示できます。
- 圧縮・調整機能・・・画像登録時に圧縮率の指定や、CT画像のウィンドウレベルの調整ができます。
- マスキング機能・・・DICOMデータに表示される個人情報や、施設情報などを除去できます。JPEGなどの画像では必要な部分に複数のマスキング処理が可能です。
- Nahriデータ登録機能・・・nahri形式のDICOMデータにも対応しています。
- まとめアップロード機能・・・一連の検査画像を検査単位（0月×日の頭部MRIなど）でまとめてアップロードできます。また、検査シリーズ個別（頭部水平断T1画像）でアップロードすることもできます。
- フクダ電子ビューア・・・フクダ電子社製の検査データを専用ビューアで表示できます。

連携サーバ（オプション） 機能説明

- 連携サーバ基本システム
 - ・既設電子カルテの患者IDと、ITKarte患者IDの紐付けを行います。
 - ・既設電子カルテから、操作者のIDを照合してITKarteへログインします。
 - ・ITKarte非登録患者のID作製、登録が既存電子カルテから可能になります。
- 連携サーバ 画像データ連携モジュール
 - ・既設の画像サーバから、蓄積されている画像をITKarteへ転送できます。
- 連携サーバ 薬歴・処方データ連携モジュール
 - ・既設の電子カルテ、オーダリング、薬歴管理システムから処方データを与薬歴としてITKarteへ転送できます（内服、注射ともに対応）。
- 連携サーバ 生理検査データ・検体検査データ連携モジュール
 - ・電子カルテ、検査サーバに蓄積された生理検査、検体検査のデータをITKarteに転送できます。
- 院外DICOMデータ取込パッケージ
 - ・院外からの持込DICOM-CDデータを、連携サーバを介して既設の院内画像サーバに取込できます。

●セキュリティに関して

ネットワーク上の多施設間医療連携においては、紹介・返事の取り取りや、診察に際して発生するデータに対して、その患者に関係する者のみが情報にアクセスできる仕組みでなくてはセキュリティ上、問題となります。

ITKarteでは、医療従事者がIDとパスワードでウェブシステムにログインした上で、さらに1.患者データへのアクセス権を獲得するための診察キーと2.個々の医療データにアクセス可能者を記録するアクセス権タグを装備することでこの問題を解決しました。

●アクセス権の管理手法について

登録された医用データは、患者ID毎に持たせてある診察キーという第2のパスワードで閲覧・登録ができるようになります。

この診察キーを知っている医療従事者、介護関係者のみが、情報共有のために登録された情報に、アクセスできます。

この診察キーは、有料患者会員の場合、患者自身が変更することができます。

包括契約ライセンスの対象医療従事者会員が登録した患者（有料患者会員でない場合）については、登録した医療従事者会員が、診察キーを管理します。

診察キーの変更以降は、新しい診察キーを利用できる医療従事者会員のみが医用データに新規のアクセス権を獲得できます。

変更前の診察キーしか保持していない医療従事者会員は、それまでにアクセスしたことのある医用データにはアクセスできますが、診察キー変更後の新たな医用データへはアクセスできないようになっています。

このように、ログインしてしまえば、全ての患者の記録が見えてしまう現在の医療情報システムとは異なり、医用データ毎にアクセス権を管理できる強固なセキュリティを持ったシステムです。

※このアクセス権管理の仕組みの詳細は、特許登録されています。特許登録番号 4024116

●インターネット接続時のセキュリティ

医用データ共有システムITKarteは、インターネットを利用した会員制のWebサービスになります。

会員の登録時には、個人情報を含んだお申込書をいただいて登録を致しますが、この登録情報についてはオフラインのネットに接続されていないシステムで管理を行っております。

サービスご利用時の通信は、SSL暗号化通信での接続をおこないます。

ITKarteデータセンターサーバは、第三者機関の認証を受けておりますので、安心して接続いただけます。

●システム管理者について

ITKarteサービスの利用にあたっては、会員登録のみで始めることができます。

特別なハードウェアや、ソフトウェアシステム導入を必要としないため、システム管理者がいなくてもご利用いただけます。

※連携サーバオプションを導入する場合は、ハードウェア、システムの構築が必要になります。

●包括契約ライセンスについて

包括契約ライセンスは、自治体、医療施設で利用できる患者IDを包括的に許諾するものです。ライセンス有効期間中のITKarteサービスを利用することができ、包括契約ライセンス分で発行された、患者IDに医療従事者、介護従事者がデータを登録、情報の共有を行うことができます。

包括契約ライセンスで発行された患者IDの利用は、原則として医療従事者間、介護従事者間に限定されますが、患者、ご家族への情報開示を行いたい場合は、患者有償会員へ移行することができます。（正規患者会員として、患者、ご家族のお申込が必要で、有償）